



2024年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2024年2月7日

上場会社名 株式会社 シード 上場取引所 東
コード番号 7743 URL <https://www.seed.co.jp>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 浦壁 昌広
問合せ先責任者 (役職名) 取締役 専務執行役員 管理本部長 (氏名) 杉山 哲也 TEL 03-3813-1111
四半期報告書提出予定日 2024年2月7日 配当支払開始予定日 ー
四半期決算補足説明資料作成の有無：有
四半期決算説明会開催の有無：有（機関投資家・アナリスト向け）

(百万円未満切捨て)

1. 2024年3月期第3四半期の連結業績（2023年4月1日～2023年12月31日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第3四半期	24,128	6.4	1,818	124.8	1,803	125.0	1,234	358.7
2023年3月期第3四半期	22,675	6.0	809	△16.4	801	△13.9	269	△55.7

(注) 包括利益 2024年3月期第3四半期 1,316百万円 (249.5%) 2023年3月期第3四半期 376百万円 (△38.9%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期第3四半期	49.30	—
2023年3月期第3四半期	10.75	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2024年3月期第3四半期	43,630	13,157	29.5	514.91
2023年3月期	40,011	12,145	29.6	473.83

(参考) 自己資本 2024年3月期第3四半期 12,889百万円 2023年3月期 11,861百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年3月期	—	0.00	—	12.00	12.00
2024年3月期	—	0.00	—	—	—
2024年3月期（予想）	—	—	—	15.00	15.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2024年3月期の連結業績予想（2023年4月1日～2024年3月31日）

(%表示は、対前年増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	33,000	7.9	1,900	201.6	1,900	242.8	1,500	—	59.92

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：有

連結業績予想の修正については、本日（2024年2月7日）公表いたしました「通期業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 ー社 （社名） 、除外 ー社 （社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2024年3月期3Q	25,033,422株	2023年3月期	25,033,422株
② 期末自己株式数	2024年3月期3Q	75株	2023年3月期	32株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2024年3月期3Q	25,033,352株	2023年3月期3Q	25,033,392株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

（第3四半期決算説明会内容の入手方法）

当社は、2024年2月22日（木）に機関投資家・アナリスト向け説明会を開催する予定です。この説明会の動画及び資料につきましては、開催後速やかに当社ホームページに掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	10
(セグメント情報等)	10
(重要な後発事象)	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、インバウンドやポストコロナの個人消費の回復が下支えをして、経済正常化が進みました。今後は、雇用や賃金環境の改善が加速することで、個人消費については、緩やかながら回復を続けていくことが期待されております。その一方で、為替相場や国際情勢に左右される物価動向、またエネルギーと資源価格の高止まり等が今後の経済成長の不確実性をもたらしております。世界経済は、欧米を中心としてインフレ局面に対応するための金融引き締め政策による景気回復の減速懸念、中国では不動産問題に端を発した雇用の一段の悪化と景気の底割れ懸念があります。また、ロシアによるウクライナ侵攻の長期化や中東情勢の緊迫化を始めとする地政学的リスクは、経済動向への大きな影響を及ぼしかねない状況となっております。

国内のコンタクトレンズ市場におきましては、経済社会活動の正常化と近視人口の増加により需要が増大しております。加えて、1日使い捨てタイプへのシフトが継続していることやミドルエイジ以降の遠近両用及び乱視用コンタクトレンズが伸長していること、また、就寝時に着用し日中裸眼で視力矯正効果が得られるオルソケラトロジーレンズの普及を背景として、市場は、人口が減少する中に有っても、着実な成長基調にあると推測されます。

当社が展開しております、アジアから欧州に至る海外のコンタクトレンズ市場におきましては、国や地域による跋行性はありながらも、需要拡大と近視の低年齢化による近視人口の増加により、今後も市場の拡大が予想されております。

このような状況の下、当社グループでは、3ヶ年中期経営計画（2021年4月～2024年3月）の最終年度である2024年3月期につきましても、『「見える」に新たな価値を』を実現していくために、「市場競争力の強化・収益力の強化」、「信頼されるモノづくり」、「SDGsの推進」、「安定した株主還元」を最重要施策として、日本国内での安定した成長を軸に、海外各国での需要回復を積極的に取り込むことにより海外事業規模の拡大と収益基盤の強化を進めております。当社では、需要回復と他社の供給不足に起因して、「Pureシリーズ」の国内外向け一部商品において、在庫の逼迫による納期の遅延が発生しておりますが、今後も拡大が見込まれる国内外市場において、成長戦略を実現するために当社は安定した商品供給と市場競争力を高める新商品の量産体制を整備し、生産力全体の強化を行う事が不可欠であると考えております。現在、当社の生産拠点である鴻巣研究所におきまして、2024年3月期には経年した1号棟の生産設備の更新及び3号棟のライン新規増設により月間最大計画枚数を現在の5,300万枚から5,800万枚へ、2024年4月竣工予定の2号棟別館新設により月間最大計画枚数5,800万枚から6,500万枚へと引き上げ、更に既存ラインの効率的な運営で、2025年3月期中に更に能力を拡大する計画を進めております。

商品戦略としましては、主力商品である国産の「シード1dayPureシリーズ」に対する需要の高まりを背景に、乱視、遠近両用コンタクトレンズといったスペシャリティレンズの需要を伸ばすと同時に、2023年3月期に市場に投入したシリコンハイドロゲルレンズの2商品「シード1daySilfa（シルファ）」、「シードAirGrade 1day UV W-Moisture（エアグレード ワンデー UV ダブルモイスタチャー）」並びにカラーコンタクトレンズ「ベルミー」、オルソケラトロジーレンズ「プレスオーコレクト®」の普及拡大により更なる需要創出を目指して販売を行っております。海外市場では、「シード1dayPureシリーズ」を中心に、それぞれの市場特性に合わせて、サークルレンズ、カラーレンズ、「シード1daySilfa（シルファ）」、オルソケラトロジーレンズ、RGPレンズ、ケア用品等、プロダクトミックスを多様化しています。

これらの事業活動の結果、当第3四半期連結累計期間において、主に国内のコンタクトレンズ販売が伸長したため、売上高は24,128百万円（前年同期比6.4%増）となりました。

利益につきましては、売上高増加及び生産数量の増加に伴う量産効果が出て原価率低減が実現されました。また、2023年3月期第2四半期以降からの価格改定効果により、売上総利益が増加した結果、営業利益1,818百万円（前年同期比124.8%増）、経常利益1,803百万円（前年同期比125.0%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は1,234百万円（前年同期比358.7%増）となりました。

セグメントの経営成績は次のとおりであります。

(コンタクトレンズ・ケア用品)

国内のコンタクトレンズにつきましては、引き続き主力商品である国産の「シード1dayPureシリーズ」を中心とし、2つの異なるベクトルを持つシリコンハイドロゲルレンズや特に市場での伸長が最も見込まれる遠近両用コンタクトレンズ等の高付加価値商品の拡販に注力してまいりました。「シード1dayPureシリーズ」は需要増により、前年同期比8.2%増加いたしました。オルソケラトロジーレンズにつきましては、前年同期比15.5%増と大きく伸長いたしました。

サークル・カラーコンタクトレンズにおきましては、販売チャネルの多様化や競合商品の増加の影響もあり、前年同期比1.6%増と概ね横ばいでの推移となりました。

ケア用品につきましては、オルソケラトロジーレンズ関連のケア用品は増加しましたが、コンタクトレンズの使い捨てタイプへのシフトの影響で前年同期比0.8%増と概ね横ばいとなりました。

海外へのコンタクトレンズ輸出等につきましては、国や地域により差はあるものの、欧州向けや東南アジア向けが堅調に推移しました。これらの増加が、中国向けの製品輸出の停滞をカバーし、前年同期比23.2%増となりました。

その結果、セグメント全体の売上高は24,040百万円（前年同期比6.5%増）、営業利益2,713百万円（前年同期比

69.6%増）となりました。

（その他）

その他につきましては、眼内レンズの売上が減少した結果、売上高は87百万円（前年同期比4.0%減）、営業損失は6百万円（前年同期営業損失5百万円）となりました。

（2）財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産の状況

当第3四半期連結会計期間末における資産の残高は、43,630百万円となり、前連結会計年度末から3,619百万円増加いたしました。主な要因としては、鴻巣研究所での新規設備の導入、3号棟底地購入、新社屋関係の投資により有形固定資産が増加したことや売上増加に伴い現金及び預金が増加したことが挙げられます。

負債につきましては、30,472百万円となり、前連結会計年度末から2,607百万円増加しております。主な要因としては、新規設備導入によるリース債務の増加が挙げられます。

純資産につきましては、13,157百万円となり、前連結会計年度末から1,012百万円増加しております。主な要因としては、利益剰余金が増加したことが挙げられます。

②キャッシュ・フローの状況

当第3四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下、「資金」という。）は、6,043百万円となりました。当連結会計年度における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は、以下のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果増加した資金は、4,550百万円（前年同期2,392百万円の増加）となりました。これは主に、税金等調整前四半期純利益の計上1,872百万円や減価償却費の計上1,985百万円、棚卸資産の減少361百万円により資金が増加しております。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果減少した資金は、2,051百万円（前年同期720百万円の減少）となりました。これは主に、鴻巣研究所の新規設備導入や新本社の建設に関する有形固定資産の取得1,992百万円が要因となっております。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果減少した資金は、1,374百万円（前年同期1,052百万円の減少）となりました。資金減少の主な要因は長期借入金の返済1,600百万円やリース債務の返済776百万円です。一方、資金増加の主な要因は短期借入金の純増加額445百万円です。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2024年3月期の業績予想につきましては、当第3四半期迄の進捗状況を踏まえ、2023年11月13日に公表いたしました業績予想から修正しております。修正につきましては、2024年2月7日公表の「通期業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

なお、業績予想につきましては、当社が現時点において入手可能な情報に基づき判断したものであり、今後のさまざまな要因により、異なる結果となる可能性があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2023年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,938,720	6,080,667
受取手形及び売掛金	4,288,385	4,139,011
商品及び製品	5,476,995	5,112,691
仕掛品	406,387	390,491
原材料及び貯蔵品	1,260,708	1,409,036
前渡金	1,433	33,367
未収入金	904,454	858,837
その他	367,206	478,041
貸倒引当金	△25,238	△30,628
流動資産合計	17,619,052	18,471,515
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物 (純額)	9,831,421	9,417,079
機械装置及び運搬具 (純額)	1,096,021	1,158,368
土地	4,504,320	5,192,278
リース資産 (純額)	2,961,669	4,767,308
建設仮勘定	114,859	813,412
その他 (純額)	664,717	623,114
有形固定資産合計	19,173,009	21,971,562
無形固定資産		
のれん	479,577	447,667
その他	723,046	641,827
無形固定資産合計	1,202,624	1,089,494
投資その他の資産		
投資有価証券	752,537	848,283
その他	1,264,077	1,249,681
投資その他の資産合計	2,016,615	2,097,964
固定資産合計	22,392,249	25,159,020
資産合計	40,011,301	43,630,536

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2023年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	687,822	477,454
短期借入金	12,608,963	13,036,413
リース債務	1,025,498	1,371,795
未払金	1,770,594	2,057,060
未払法人税等	9,060	773,317
賞与引当金	412,440	241,944
設備関係支払手形	81,133	58,636
製品保証引当金	64,350	78,990
その他	663,916	753,849
流動負債合計	17,323,780	18,849,461
固定負債		
長期借入金	5,040,562	4,374,510
リース債務	2,215,992	3,849,160
退職給付に係る負債	3,090,845	3,242,196
資産除去債務	39,774	39,774
その他	154,848	117,844
固定負債合計	10,542,024	11,623,486
負債合計	27,865,805	30,472,947
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,841,280	1,841,280
資本剰余金	3,103,744	3,083,744
利益剰余金	6,470,000	7,403,690
自己株式	△24	△48
株主資本合計	11,415,000	12,328,666
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	239,278	309,509
繰延ヘッジ損益	△2,452	△68,594
為替換算調整勘定	150,327	304,264
退職給付に係る調整累計額	59,392	15,958
その他の包括利益累計額合計	446,545	561,137
非支配株主持分	283,950	267,785
純資産合計	12,145,496	13,157,589
負債純資産合計	40,011,301	43,630,536

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)
売上高	22,675,024	24,128,944
売上原価	13,921,555	13,361,391
売上総利益	8,753,468	10,767,553
販売費及び一般管理費	7,944,460	8,949,170
営業利益	809,007	1,818,382
営業外収益		
受取利息	1,233	1,369
受取配当金	8,787	10,397
受取賃貸料	17,935	19,765
受取保険金	11	13,330
為替差益	42,350	47,236
助成金収入	23,194	28,081
売電収入	33,185	36,251
その他	31,753	20,606
営業外収益合計	158,451	177,039
営業外費用		
支払利息	132,654	154,635
その他	33,175	36,839
営業外費用合計	165,830	191,474
経常利益	801,629	1,803,946
特別利益		
固定資産売却益	48	193
投資有価証券売却益	—	91,745
特別利益合計	48	91,938
特別損失		
固定資産除却損	6,281	64
投資有価証券評価損	—	1,647
建物解体費用	92,918	—
関係会社株式評価損	—	21,399
特別損失合計	99,199	23,111
税金等調整前四半期純利益	702,478	1,872,773
法人税、住民税及び事業税	85,198	679,653
法人税等調整額	372,903	△8,592
法人税等合計	458,101	671,061
四半期純利益	244,377	1,201,712
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△24,662	△32,377
親会社株主に帰属する四半期純利益	269,039	1,234,090

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)
四半期純利益	244,377	1,201,712
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	49,347	70,231
繰延ヘッジ損益	△31,235	△66,142
為替換算調整勘定	102,592	153,937
退職給付に係る調整額	11,558	△43,433
その他の包括利益合計	132,263	114,592
四半期包括利益	376,640	1,316,304
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	376,582	1,332,470
非支配株主に係る四半期包括利益	57	△16,165

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	702,478	1,872,773
減価償却費	1,912,095	1,985,650
のれん償却額	86,180	47,423
受取保険金	△11	△13,330
建物解体費用	92,918	—
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△19,284	△8,105
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	△11,765	30,893
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△156,190	△170,496
製品保証引当金の増減額 (△は減少)	14,864	14,640
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	△119,337	—
受取利息及び受取配当金	△10,021	△11,766
支払利息	132,654	154,635
固定資産売却益	△48	△193
固定資産除却損	6,281	64
有価証券及び投資有価証券売却損益 (△は益)	—	△91,745
有価証券及び投資有価証券評価損益 (△は益)	—	1,647
関係会社株式評価損	—	21,399
売上債権の増減額 (△は増加)	339,349	208,705
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△513,836	361,035
前渡金の増減額 (△は増加)	156,203	△31,933
未収入金の増減額 (△は増加)	△98,368	133,366
仕入債務の増減額 (△は減少)	△1,397	△228,623
未払金の増減額 (△は減少)	338,225	235,578
未払消費税等の増減額 (△は減少)	123,072	△202,114
その他	△7,132	348,847
小計	2,966,928	4,658,352
利息及び配当金の受取額	10,041	11,766
利息の支払額	△130,765	△153,885
法人税等の還付額	—	95,777
法人税等の支払額	△454,026	△74,960
保険金の受取額	11	13,330
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,392,189	4,550,381

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	—	△37,120
保険積立金の解約による収入	22,647	2,792
有形固定資産の取得による支出	△732,048	△1,992,936
有形固定資産の売却による収入	48	—
無形固定資産の取得による支出	△17,049	△20,787
投資有価証券の取得による支出	△15,471	△724
投資有価証券の売却による収入	—	14,620
貸付けによる支出	△19,074	△1,499
貸付金の回収による収入	5,136	3,627
預り保証金の受入による収入	—	—
敷金及び保証金の差入による支出	△9,356	△13,236
敷金及び保証金の回収による収入	28,204	5,918
資産除去債務の履行による支出	△41,000	—
有形固定資産の解体による支出	△92,918	—
事業譲渡による収入	150,480	—
関係会社株式の取得による支出	—	△10,052
その他	△347	△2,003
投資活動によるキャッシュ・フロー	△720,748	△2,051,402
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	1,442,450	445,196
長期借入れによる収入	4,333	878,000
長期借入金の返済による支出	△1,575,588	△1,600,866
自己株式の取得による支出	△0	△23
配当金の支払額	△300,417	△300,325
非支配株主からの払込みによる収入	96,300	—
連結の範囲の変更を伴わない子会社株式の取得による支出	—	△20,000
リース債務の返済による支出	△719,262	△776,907
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,052,185	△1,374,928
現金及び現金同等物に係る換算差額	△1,315	△19,223
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	617,939	1,104,826
現金及び現金同等物の期首残高	3,877,923	4,938,720
現金及び現金同等物の四半期末残高	4,495,863	6,043,547

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント		その他(注)	合計
	コンタクトレンズ・ ケア用品	計		
売上高				
外部顧客への売上高	22,583,362	22,583,362	91,661	22,675,024
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—
計	22,583,362	22,583,362	91,661	22,675,024
セグメント利益又は損失(△)	1,599,986	1,599,986	△5,264	1,594,722

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれないセグメントであり、眼鏡及び眼内レンズ等を含んでおりません。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	1,599,986
「その他」の区分の損失(△)	△5,264
セグメント間取引消去	—
全社費用(注)	△785,714
四半期連結損益計算書の営業利益	809,007

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない提出会社の総務部や経理部、情報システム部等の管理部門に係る費用であります。

Ⅱ 当第3四半期連結累計期間（自 2023年4月1日 至 2023年12月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント		その他（注）	合計
	コンタクトレンズ・ケア用品	計		
売上高				
外部顧客への売上高	24,040,951	24,040,951	87,992	24,128,944
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—
計	24,040,951	24,040,951	87,992	24,128,944
セグメント利益又は損失（△）	2,713,942	2,713,942	△6,281	2,707,661

（注）「その他」の区分は、報告セグメントに含まれないセグメントであり、眼鏡及び眼内レンズ等を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	2,713,942
「その他」の区分の損失（△）	△6,281
セグメント間取引消去	—
全社費用（注）	△889,278
四半期連結損益計算書の営業利益	1,818,382

（注）全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない提出会社の総務部や経理部、情報システム部等の管理部門に係る費用であります。

(重要な後発事象)

(重要な設備投資)

当社は、2024年2月7日開催の取締役会において、コンタクトレンズの製造工場（鴻巣研究所4号棟）を建設し、製造設備を導入することを決議いたしました。

1. 設備投資の目的

今後の売上拡大の足枷となりうる商品供給力の不足を解消し、開発製造体制を整備し、市場競争力と企業価値を向上させるため。

2. 設備投資の内容

- (1) 所在地 埼玉県鴻巣市袋1030番7
- (2) 用途 コンタクトレンズの製造工場及び製造設備
- (3) 投資額 131億円（予定）
- (4) 完成後能力 「1,000万枚/月」（予定）

3. 設備の導入時期

- (1) 着工 2024年8月（予定）
- (2) 完成 2026年1月（予定）

4. 当該設備が営業・生産活動に及ぼす重要な影響

当該設備投資が2024年3月期の連結業績に与える影響は軽微であります。